



もくれんだより

おちらと

株式会社もくれん
広報誌 第6号
2020.0101発刊



株式会社 もくれん 〒693-0052 出雲市松寄下町 1286-1 Tel (0853)25-7230 Fax (0853)25-7231

URL: izumo-mokuren.com E-mail: mokuren@honey.ocn.ne.jp

新年明けましておめでとうございます。2020年はMG研修でお待ちしています。

社内マネージメントゲーム研修の様子



2020年

社外向けのMG研修を定期開催致します。
詳しくは本社事務局まで直接お問い合わせ下さいませ。

(Management Game) マネージメントゲームとは？

ビジネスゲームの一つ。昭和51年に西順一郎氏がソニーCDIで開発。経営教育の手法。チームで行なうのではなく、「1人経営」型をとる。ゲームに思想と科学と作者の企業体験を盛り込むことで、受講者は、企業の大ワク、利益の構造、活きた経営学、活きた会計学を身につけることができる。知識教育でなく、能力の涵養を主眼とするため、「理入」（知識教育）でなく、「行入」（体験学習）を基本とする。

西研究所：<http://www.nishiken.jp/>

皆さん、新年明けましておめでとうございます。
旧年中は職員一同大変にお世話になり、誠にありがとうございました。

昨年は、弊社十周年の祝賀会が開催されると共に、平成が終わり令和が始まるという記念すべき一年となりました。

また私事でございますが、私上田が「マネージメントゲーム(MG)」の西研公式インストラクター資格を取得し、国内外様々ところで研修会に携わる機会が増えました。

その中で、「先ずは足元から」と弊社社員を対象に社内MG研修会を開催し、社員の研鑽の機会を増やし、地域のための企業として益々成長していけるよう日々取り組んでいます。

その一方で、今年から新たに「出雲地域においても地域の皆さんと共に自己研鑽が出来れば」と思い、社外向けのMG研修会を弊社で計画、運営、実施する運びとなりました。

十年先、二十年先のご自分の企業や法人、そして地域の姿をイメージして頂き、皆さんと一緒に学び合えることが出来る日を楽しみにしております。ご参加、心よりお待ちしております。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

2020年 元旦

株式会社もくれん

代表取締役 上田 英範



今年も色々な所へお出掛けしました



久しぶりに🎣釣りに出かけました



料亭で敬老のお祝い。おめでとうございます



いつも教えて下さりありがとうございます



今年も皆さんに沢山ご活躍して頂きました



今年の遠足は鳥取県「花回廊」でした

新年明けましておめでとうございます。

開業以来、デイサービスもくれんで大切にしていることが二点あります。

まず一点目は「近所の家に遊びに行く感覚で来てもらいたい」という思いで、アットホームな雰囲気を大切にしています。「デイサービスに行きます」といった、かしこまった感じではなく、「ちょっともくれんにお茶飲みに出かけてみるかな」といった気軽な感じでお出掛けして頂ければ・・・と願っています。

そしてもう一点は「日課は設けない」ということです。「今日は～しなければならぬ」といった、始めから決まっている活動はもくれんにはございません。その日にお出掛け下さった皆さんと「今日は一日どのように過ごされますか」と相談しながらその日の予定を考えます。その結果として、春はお花見、夏は山や海、秋は紅葉、冬はドライブなど色々な所へお出掛けすることも多くあります。皆さんお出掛けは特に喜ばれますからね。

これからも皆さまに末長くお元気に、ご自分らしく暮らして頂くためにも、職員一同たゆまない努力をして参りたいと思います。本年もどうぞ「デイサービスもくれん」をよろしく願い申し上げます。

2020年 元旦

デイサービスもくれん 本店
管理者 岡 健・職員一同
デイサービスもくれん 荒茅
管理者 上田 文愛・職員一同



グループホームもくれん (認知症対応型共同生活介護事業所) TEL 43-8522

皆さん新年明けましておめでとうございます。

ご利用者さま、ご家族さま、そして地域の皆さまにおかれましては平素からのお心遣い、心より感謝申し上げます。

さて、グループホームもくれんも今年で7年目を迎えます。開所当時からご利用して頂いている皆さんにおかれましては、既に6年もの月日をもくれんにてお過ごしになられていることとなります。

皆さん、たとえお歳を召されても変わらず「自分のことは出来るだけ自分で」というお気持ちでいらっしゃいます。

そのお気持ちを大切に、私たちに出来ることは

「どうしてもご自分だけで、し辛くなられた事を
そっとお手伝いさせて頂くこと」



かと思えます。



これからの一年間も、18名の皆さん、どの方も生活スタイルもご性格も異なりますが、誰もが気持ちよく、自分らしく暮らして頂ける様に、心のこもった支援をさせて頂きたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



2020年 元旦

グループホームもくれん 管理者 木村 佳代
職員 一同

介護のよろず相談所もくれん (居宅介護支援事業所) TEL 25-7591

今日のお昼ご飯は何を食べようかな？

明日は何処にお出掛けしようかな？

いずれ訪れる最期の瞬間を

どこでどのように迎えようかな・・・

それまでどんな過ごし方をしようかな・・・

人生は大小の意思決定の連続です。

様々なことが起こり得る毎日の中で、限りある時間を大切に出来るような意思決定を支援することで、それぞれに「良い人生だった」と思って頂けるように・・・

これからも自己研鑽を積み重ね、ご利用して頂く皆様のために、チーム一丸となって精一杯の支援をさせて頂きたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



2020年 元旦
管理者 江角 新之介
金築 洋子
黒田 宏美

登録定員 25名 通い定員 15名/日 泊まり定員 6名/日

皆さん新年明けましておめでとうございます。

昨年は平成から令和に元号が変わった新しい年の幕開けでもありました。

小規模ホームでは昨年からの新しい行事に取り組んで参りました。事業計画にも取り上げました地域向けの低栄養改善・食支援への取り組みとして11月に「オトナ食堂」、畑村地区「梅の会」の皆さまにお世話頂きました「かかし作り」など、また一歩地域参加の機会を増やすことが出来たように思います。

毎日の生活の中でも「ご自身で出来る事はご自身で」と実際のご自宅での生活に繋がるような過ごし方をご提案させて頂いたり、より低栄養改善・食支援に力を入れた食事の提供に取り組んだり、皆さんが一秒でも長くご自宅で自分らしく生活が出来るような支援を心掛けて参りました。

住み慣れた環境のもと年齢を重ねていき、最期まで自分らしく生きる。そのような当たり前の願いを叶えるために、皆さんに何が必要なのか、私たちに何が出来るとか。

小規模多機能型居宅介護の持つ特性を活かした支援が今後も出来るように、職員一同、本年も頑張ってお参ります。



2020年 元旦

小規模ホームもくれん 管理者 小村 巳智子
職員 一同

「タイ王国ラチャブリー県ポータラム郡」視察研修のご報告

去る2019年11月22日、タイ王国中部ラチャブリー県ポータラム郡にて日本における介護医療の現状報告と実際の現地の視察にお邪魔させて頂きました。

ポータラム病院にてこちら側の報告と、この度お世話頂きました特定非営利活動法人 Rehab-Care for ASIA (ReCA) 代表の國谷昇平先生からタイの現状についての報告とグループワークを行いました。その後、フィールドを地域に移し県内に29か所ある「アナマイ(保健所)」の見学と「オーソーモー」と呼ばれる地域の高齢者の方々を支えるボランティアスタッフの皆さんと意見交換を行い、実際に在宅で生活されている高齢者の方々のお



宅へ同行訪問にお邪魔させて頂きました。

そして最後に訪れたのはReCAが自費で運営するデイケアでした。

こちらでは視察と交流に参加させて頂き、その交流の中で弊社ご利用者が作って下さった「しじみのストラップ」を現地のご利用者にプレゼントさせて頂きました。タイの現状としては十分な皆社会保険制度がないまま高齢化社会、超高齢化社会を迎えています。

タイのGDPは我が国で介護保険制度が始まった2000年の約十分の一と言われています。そのような状況の中、タイの高齢者の皆



さんの医療や介護をどのように担保していくのか、そして破綻寸前のわが国の介護保険制度、地域包括ケアシステムで本当に大切なものは何なのか。実はこの二点が非常に酷似していることを肌で感じさせて頂くなど、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。貴重な機会をありがとうございました。

< もくれん湖陵 諸井 望 >

<編集後記> 先日のバンコクでの視察で出会った「オーソーモー」と呼ばれる地域のボランティアスタッフさんがいらっしゃいます。彼女達にボランティアのやりがいについて尋ねてみると「なぜにそのような事を聞くのですか」と答えられました。続いて「困っている人がいるならば助けるのが当たり前じゃないですか」と答えられました。私たちも「制度」や「サービス」だけにとらわれず、今一度「誰のための」「何のための」私たちか、考えていきたいと心から思いました。本年も皆で頑張ってお参ります。 (株)もくれん広報委員会